

蘭島と周囲の景観が国の重要文化的景観に

平成25年6月21日、蘭島（あらいぎ島）と周囲の景観が、「蘭島及び三田・清水の農山村景観」として国の重要文化的景観に選定するよう文化審議会から答申されました。「蘭島をはじめとする有田川上流域の河岸段丘地形において展開する水田耕作や保田紙生産等の特徴的な生業活動によって生み出されてきた景観地が、この地域の生活・生業を理解する上で欠くことのできないもの」として高い評価を得たことによります。

時には大規模な自然災害と向き合い、何千年にもわたり絶え間なく繰り返されてきた先人達の営みによって形成され、そして現在、地域の皆様方の努力によって維持されているこの景観が、日本にとってかけがえない文化遺産、日本の宝であると認められました。

重要文化的景観とは？

文化的景観とは、人々の活動によって長い年月をかけて形成されてきた独特の景観地のことで、地域の生活や生業の歴史を理解する上で欠くことのできない文化遺産です。

文化的景観の中で、特に重要なものが国に認められ、重要文化的景観として選定されています。重要文化的景観は、現在までに全国で35ヶ所が選定されていますが、和歌山県内では初めての選定となります。

